

SANWA SUPPLY USBオーディオキャプチャケーブル 取扱説明書

400-MED1017

最初に
ご確認ください

- オーディオキャプチャケーブル本体 … 1台
- 3.5mm変換アダプタ …… 1個
- CD-ROM …… 1枚
- 取扱説明書(本書) …… 1部

※万一、足りないものがあったら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

また、お手元にご置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
- 動作環境
- 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
- 取扱い上のご注意
- 各部名称と働き
- 付属のソフトをインストール
- 接続方法
- 音声の録音
- Audacityの設定
- Audacityで録音する
- 録音した音声を再生する
- 録音した音声をファイルとして保存する
- プロジェクトの保存をする
- 仕様

1. はじめに

この度はUSBオーディオキャプチャケーブル(400-MED1017)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧ください。
読み終わったあとともこの取扱説明書は大切に保管してください。

2. 動作環境

- 対応機種
Windows搭載(DOS/V)パソコン、NEC PC98-NXシリーズ、
※必要な機器構成は「1.4.仕様」を参照してください。
- 対応OS
Windows 10(64-32bit)-8.1(64-32bit)-8(64-32bit)-7(64-32bit)-Vista(64-32bit)-XP(SP2以降)

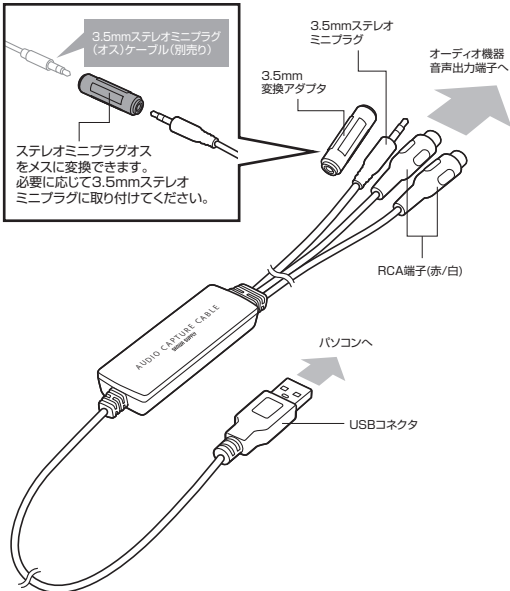
3. 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

- 警告
下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。
 - 分解、改造はしないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)
※保証の対象外になります。
 - 水などの液体に濡らさないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)
 - 小さな子供のそばでは本製品の取外しなどの作業をしないでください。(飲み込む恐れがあります)
- 注意
下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与える恐れがあります。
 - 取付け取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
 - 次のような場所で使用しないでください。
 - ①直接日光の当たる場所
 - ②湿気や水分のある場所
 - ③傾斜のある不安定な場所
 - ④静電気の発生する場所
 - ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
 - 長時間の使用後は高温となっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)
- お手入れについて
 - ①清掃する時は電源を必ずお切りください。
 - ②機器は柔らかい布で拭いてください。
 - ③シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください。

4. 取扱い上のご注意

- メディア内のデータは、必ず他のメディアやハードディスク等にすべてバックアップしてください。
 - ※特に修復・再現のできない重要なデータは必ずバックアップをしてください。
 - ※バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5. 各部名称と働き

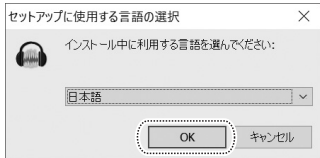


6. 付属のソフトをインストール

ソフトのインストールは、他のアプリケーション等をすべて終了させてから行ってください。

- ①Windowsを完全に起動させ、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
※使用機器-OSによって画像は若干異なります。

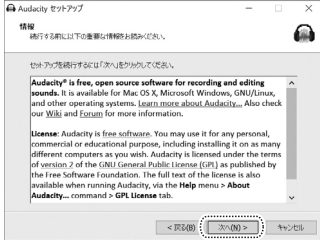
- ②日本語を選択して「OK」をクリックします。



- ③「次へ」をクリックしてください。

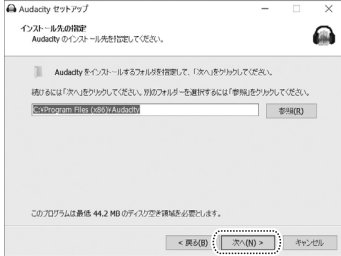


- ④「次へ」をクリックしてください。



6. 付属のソフトをインストール(続き)

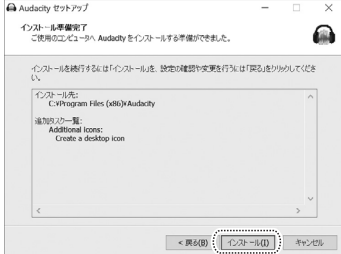
- ⑤「次へ」をクリックしてください。インストール先を指定する場合は「参照」をクリックして選択してください。



- ⑥「次へ」をクリックしてください。



- ⑦「インストール」をクリックしてください。



- ⑧「次へ」をクリックしてください。



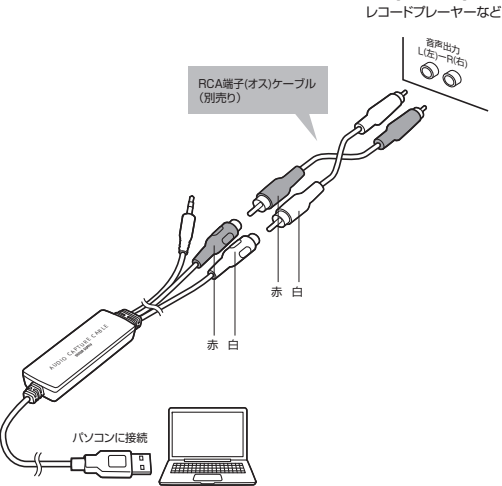
- ⑨「完了」をクリックしてセットアップを完了してください。



7. 接続方法

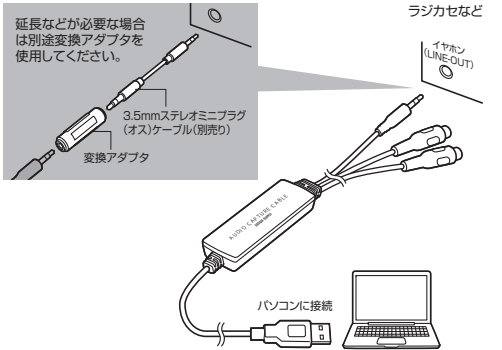
〈RCA端子で接続する場合〉

オーディオ機器の音声出力端子を本製品のRCA端子に接続します。
接続する際にRCA端子(オス)ケーブルが必要な場合がありますので別途ご購入ください。
※フォノイコライザー機能が無いレコードプレーヤーでは正常な音での再生ができなかったり、雑音が発生する場合があります。
既存の「フォノイコライザー内蔵アンプ」を経由し本製品と接続してください。



〈3.5mmステレオミニプラグで接続する場合〉

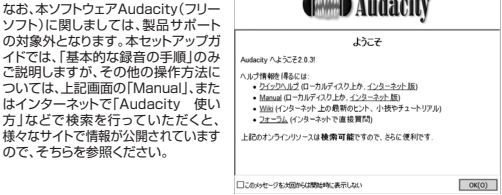
ラジカセなどのイヤホン端子と本製品の3.5mmステレオミニプラグを接続します。



8. 音声の録音

本製品を対象のオーディオ機器に接続後、USBコネクタをパソコン本体のUSBポートへ接続し、プログラムメニュー内の「Audacity」、またはデスクトップ上の「Audacity」のアイコンより、「Audacity」を起動してください。

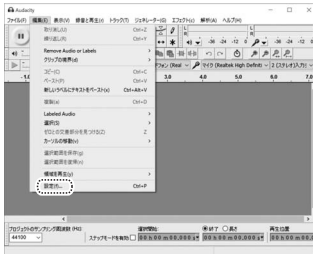
Audacityを起動すると右記画面が表示されます。



9.Audacityの設定

Audacityの設定をします。
設定は本製品がパソコンに接続された状態でを行います。
本製品を対象のオーディオ機器に接続後、USBコネクタをパソコン本体のUSBポートへ接続してください。
パソコンとの接続が完了したら、Audacityを起動してください。

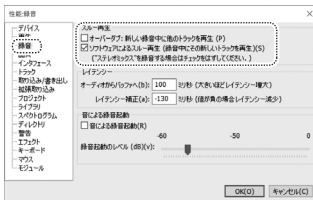
- ①編集をクリックして設定をクリ
ックしてください。



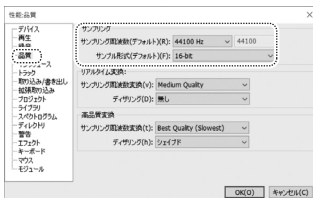
- ②「デバイス」をクリックし、「録音」の項目を、デバイス:「マイク配列(USB Audio Device)」チャンネル:「2(ステレオ)」に設定します。



- ③「録音」をクリックし、「スルー再生」の項目で、「オーバーダブ」のチェックを外し、「ソフトウェアによるスルー再生」にチェックを入れます。



- ④「品質」をクリックし、「サンプリング」の項目で右図のように、サンプリング周波数を44100Hz、サンプリング形式を16-bitにします。



- ⑤「ディレクトリ」をクリックし、「テンプレリディレクトリ」の場所を確認します。



Audacityでは作業用一時ファイルを作成しますのでハードディスクの空き容量が十分空きのあるフォルダを「選択」のボタンから選択して設定を行ってください。

以上の設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

10.Audacityで録音する

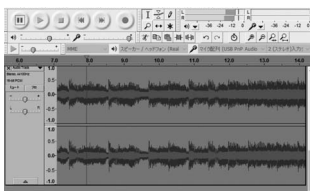
- ①本製品の場合、特に録音レベルの設定は必要ありませんが、録音レベルの確認をすることができま
す。
画面上部の「録音レベルメーター」があります。
接続したオーディオ機器を再生し、マイクアイコンのすぐ右の「▼」ボタンをクリックし、メニューの「モニターを開始」を選択すると、録音レベルが表示されます。
(または、レベルメーターをクリックすることでモニターを開始できます)



- ②再生を開始し、画面上の「録音ボタン」を押すと録音を開始します。



- ③録音を開始すると右図のように波形が表示されます。

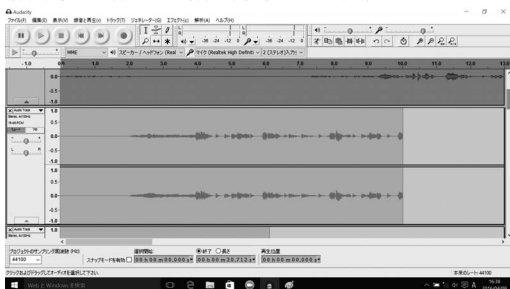


- ④録音を終了するには、停止ボタンを押します。
※この時点では録音した音声は一時ファイルとして、記憶されているもので、ファイルとしての保存はされていません。



11.録音した音声を再生する

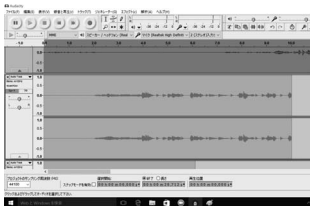
録音が完了すると下記のように録音した曲数分のトラックが完成します。



音声の再生は再生ボタン(▶)を押すことで再生できますが、複数のトラックが存在する場合、すべてのトラックが同時に再生されます。
ここでは録音を繰り返し行い複数のトラックから、聴きたい音楽を再生する手順について説明します。

●聴きたい音声を選択して、最初から再生する

- ①聴きたいトラックをクリックし、反転させます。
※右図は、最上部のトラックを選択した場合です。



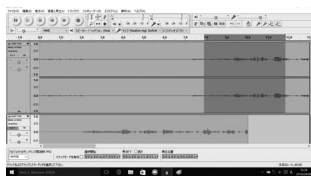
11.録音した音声を再生する(続き)

- ②再生しないすべてのトラックの「ミュート」ボタンをクリックして、再生しないようにします。
- ③聴きたい音声を選択したトラックを最初から再生するには、トラックを選択した後、「最初」位置まで進める「ボタン」再生ボタンの順で押すと、選択している音声再生されます。



●音声の特定の部分だけを再生する

再生したい部分をドラッグして、再生ボタンをクリックすると、ドラッグした範囲(色が変わった部分)だけが再生されます。

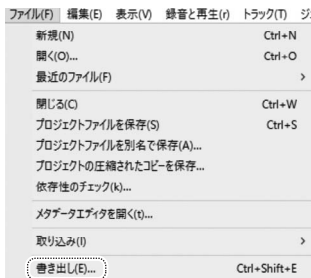


12.録音した音声をファイルとして保存する

通常、音声はWAV形式で保存されます。

●録音した音声は1つのトラックの場合

- ①「ファイル」→「書き出し」の順にクリックします。
※複数のトラックがある場合にこの手順で保存すると、録音した全てのトラックの音声は合成され、1つのファイルとして保存されます。
複数のトラックをそれぞれ個別のファイルとして保存した場合は、次の項の「録音した複数のトラックを、個別のファイルとして保存する。」を参照してください。



- ②右図のように書き出しメニューが表示されますので、「保存する場所」を指定し、「ファイル名」を入力し、保存をクリックします。

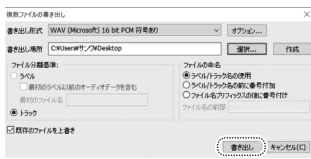


●録音した複数のトラックを、個別のファイルとして保存する

- ①「ファイル」→「複数ファイルの書き出し」の順にクリックします。



- ②「複数ファイルの書き出し」画面が表示されたら、「書き出し形式」[WAV(Microsoft)]16bit PCM(符号あり)を選択し、「書き出し場所」を指定してください。
「既存のファイルを上書き」にチェックが入っていること、保存先にあるファイルに対し、上書き保存されますのでチェックを外してください。
設定が完了したら、「書き出し」ボタンをクリックします。



12.録音した音声をファイルとして保存する(続き)

- ③「メタデータを編集」というウィンドウが出ますが、WAV形式の場合、メタデータは記録されませんので、入力せずに「OK」ボタンをクリックします。



- ④「次のファイルの書き出しが成功しました」とメッセージが表示されたら、完了です。「OK」ボタンをクリックしてください。



13.プロジェクトの保存をする

録音や編集した内容をプロジェクトとして保存することができます。
※プロジェクトの保存は、録音した内容や編集した内容を保存するもので、音声形式のファイルとして保存するものではありません。

以上が、Audacityの基本的な録音および保存の手順になります。

Audacityのその他機能、取り扱いについてはAudacity起動時に表示されるメニュー内のマニュアル(英語)を参照いただくか、またはインターネットで「Audacity 使い方」などで検索を行っていたかと、様々なサイトで情報が公開されているので、そちらを参照し、ご利用ください。

14.仕様

インターフェース	USB2.0
対応フォーマット	MP3, WAV
サンプリングレート	MP3:44.1kHz/48kHz, WAV:44.1kHz/48kHz
入力端子	ステレオRCA端子(メス)、3.5mmステレオミニジャック(オス)
電源	USB/バタリ駆動
本体動作電圧	5V(USBポートから給電)
サイズ・重量	W26×D11×H73mm・約50g(本体のみ)

■システム要件

●Windows

Pentium IV 1.6GHz以上のCPU、512MB以上のメモリ、1GB以上のハードディスク空き容量、USB2.0ポートに1つの空き、CD-RMDドライブ、DirectX9.0c対応、XGA(1024×768)以上のディスプレイ

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社

サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381
BG/AG/KIDaSz